

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●天皇賞(秋)でイクイノックスがG I初制覇

10月30日(日)に行われた天皇賞(秋)(G I)ではイクイノックス(牡3歳/美浦・木村哲也厩舎)が優勝、G I初制覇を果たしました。3歳馬の勝利は天皇賞(秋)史上5頭目のこと。またイクイノックスはデビュー5戦目での古馬G I制覇で、これはグレード制が導入された1984年以降では最少キャリア記録となります。

●戸崎圭太騎手が通算1300勝、菅原明良騎手が通算200勝を達成

10月29日(土)の4回東京8日・第5レースではシャンパンカラーが1着となり、同馬に騎乗した戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)は、史上28人目、現役では14人目となるJRA通算1300勝(9044戦目)を達成しました。翌30日(日)の4回東京9日・第7レースではラエフオールが1着となり、騎乗した菅原明良騎手(美浦・高木登厩舎)は、現役63人目となるJRA通算200勝(2719戦目)を達成しました。

●トム・マーカンド騎手がJRA初勝利をあげる

10月29日(土)の4回東京8日・第8レースではカトゥルスフェリスが1着となり、同馬に騎乗したトム・マーカンド騎手(イギリス)は、JRA初勝利(4戦目)をあげました。

●安田翔伍調教師がJRA通算100勝を達成

10月29日(土)の4回新潟5日・第11レースとして行われた魚沼Sではカレルンシエルブルが1着となり、同馬を管理する安田翔伍調教師(栗東)は、現役149人目となるJRA通算100勝(延べ1043頭目)を達成しました。

●西谷凜騎手が引退

西谷凜騎手(栗東・谷潔厩舎)は、10月31日(月)をもって騎手を引退しました。JRA通算成績は244戦5勝で、今後は栗東・茶木大樹厩舎で調教助手となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●JBCはテーオーケインズ、ダンシングプリンスらが優勝

JBCクラシック(Jpn I、11月3日、盛岡、2000^米)は、中国から差を詰めたテーオーケインズ(松山弘平騎手、牡5歳、父シニスターミニスター)が、ゴール前100^米標識の手前で逃げ粘る2番人気のクラウンブライドを捉えて2馬身半突き放し、単勝1.8倍の支持に応えました。ペイシャエスが3着、クリノドラゴンが4着、3番人気のメイショウハリオが5着、オーヴェルニュが6着、カフジオクタゴンが7着と、JRA所属馬が上位を独占しています。

JBCスプリント(Jpn I、11月3日、盛岡、1200^米)は、3番人気のダンシングプリンス(三浦皇成騎手、牡6歳、父パドトロフ)が、リュウノユキナを3/4馬身抑えて逃げ切り勝ち。ヘリオスが3着、1番人気のレッドルゼルは4着、2番人気のテイムサウダンは7着、スマートダンディーは9着、ラブタスは11着でした。

JBCレディスクラシック(Jpn I、11月3日、盛岡、1800^米)は、2番手から直線入口で先頭に立った3番人気のヴァレーデラルナ(岩田望来騎手、牝3歳、父ドゥラメンテ)が2番人気のグランブリッジの追撃をクビ差凌ぎ、重賞初挑戦で初制覇。単勝1.7倍で断然人気のショウナンナデシコは3着、レーヌブランシュが4着、ブリティーチャンスが5着、テリオスベルが6着、アナザーリックが7着に入り、こちらもJRA勢が上位を占めました。

JBC2歳優駿(Jpn III、11月3日、門別、1800^米)は、後方から追い上げた9番人気のゴライコウ(石川倭騎手=北海道、牡、父ホッコータルマエ)が直線に入って間もなく抜け出し、1番人気のベルピット(北海道)に2馬身半差を付けて快勝。テレパシーは6着、逃げた2番人気のエコロアレスは7着、3番人気のナチュラルリバーは8着、ゴッドインパルスは13着に敗れています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1メルボルンC~ゴールドトリップが制す

現地11月1日にオーストラリア・ヴィクトリア州のフレミントン競馬場で行われたG1メルボルンC(3歳上、芝3200^米)は、トップハンデの57.5^{kg}を背負ったゴールドトリップ(牡5歳、父アウトストリップ)が差し切り勝ちを収めました。ゴールドトリップはフランスからの移籍馬で、同国では2020年のG2グレフェール賞(芝2200^米)を制し、同年のG1凱旋門賞では4着。オーストラリア移籍後6戦目でのオーストラリア初勝利がビッグタイトルとなりました。M. ザーラ騎手とC. マー&D. ユースタス厩舎はともにこのレース初制覇です。

●ゴールデンイーグル~アイウィッシュアイウィンが優勝

4歳馬限定の高額賞金レース(総賞金1002万豪^{ドル}=約9億5490万円/1豪^{ドル}95.3円で換算)であるゴールデンイーグル(芝1500^米)が、10月29日にオーストラリア・ニューサウスウェールズ州のローズヒル競馬場で行われ、ニュージーランドからの移籍馬であるアイウィッシュアイウィン(騾4歳、父サヴァビール、P. ムーディー厩舎)が、L. ノレン騎手を背に残り200^米で先頭に立って優勝しました。アイウィッシュアイウィンはこれで13戦5勝。10月8日のG1トゥーラックH5着からの参戦でした。